

発達障害者支援検討会からの 課題・提案

第3回 高知市自立支援協議会

R5.11.21 障がい福祉課

1 これまでの活動を通じての課題

高知市障害者相談センター相談件数（発達障害者）

・平成29年度相談件数：32件



・令和元年度相談件数：59件



・令和3年度相談件数：67件

1 これまでの活動を通じての課題

(1) 居場所の確保

- ・自宅以外に出ていく場所は見つけないが、就労継続支援事業所へは継続して通所できない。
- ・安心して居れる場所・個人に対応できる場所の確保が難しい
- ・決まった時間や日時に行かなくてもよい場所、自由に利用し過ごしてよい場所があればよい。
- ・発達障害者の話を聞いてくれる場が少ない（人・場所）
- ・手続きのハードルが低い利用先が欲しい。利用開始するまでに時間がかかってしまう。
簡単な手続きで利用できる施設があれば利用しやすい。

1 これまでの活動を通じての課題

(2) 支援者の理解促進

- ・支援者が学べる場所・相談できる場所が少ない。
- ・支援者のスキル向上（話を聞いてほしい人が多く、支援者として聴くスキルを身につける必要）
- ・地域活動支援センターの連携や情報交換など。

その為には、各センターが連携し、対人技術や支援方法等を検討しあえる機会が必要。

ノウハウ・困りごとの議論にとどまらず、個を中心に話題提供していくなど。

1 これまでの活動を通じての課題

(3) 送迎

- ・日中活動の場所として、就労系以外には地域活動支援センターがあるが、
→移動手段のない利用希望者がおり（自転車又は電車・徒歩など）、地域活動支援センターへつながらない、つながりにくい。
- ・高知市内に設置されている地域活動支援センターや、就労支援事業所など利用者向けの定期的な周遊バスの運行はできないだろうか（居場所確保につながる）

2 これまでの活動を通じての提案

支援者の理解促進に関して

- ・各地域活動支援センターの情報交換を目的とした交流会を企画していく
- ・各センターが連携し、対人技術や支援方法等を検討しあえる機会が必要。
困りごとの議論にとどまらず、個を中心に話題提供していくなど。

3 発達障害者支援検討会 令和5年度活動計画

- 発達障害者支援検討会：これまでは3カ月に1回開催
→令和6年度からは2か月に1回開催
- 就労支援事業所や相談支援専門員との意見交換会開催を検討していく